

MS&C

株式会社 MS & Consulting

2024年2月期 第1四半期

決算説明資料

✓ 業績

- 売上収益 384百万円 前年同四半期比16.0%減
- 営業損益 △99百万円 前年同四半期差異124百万円減

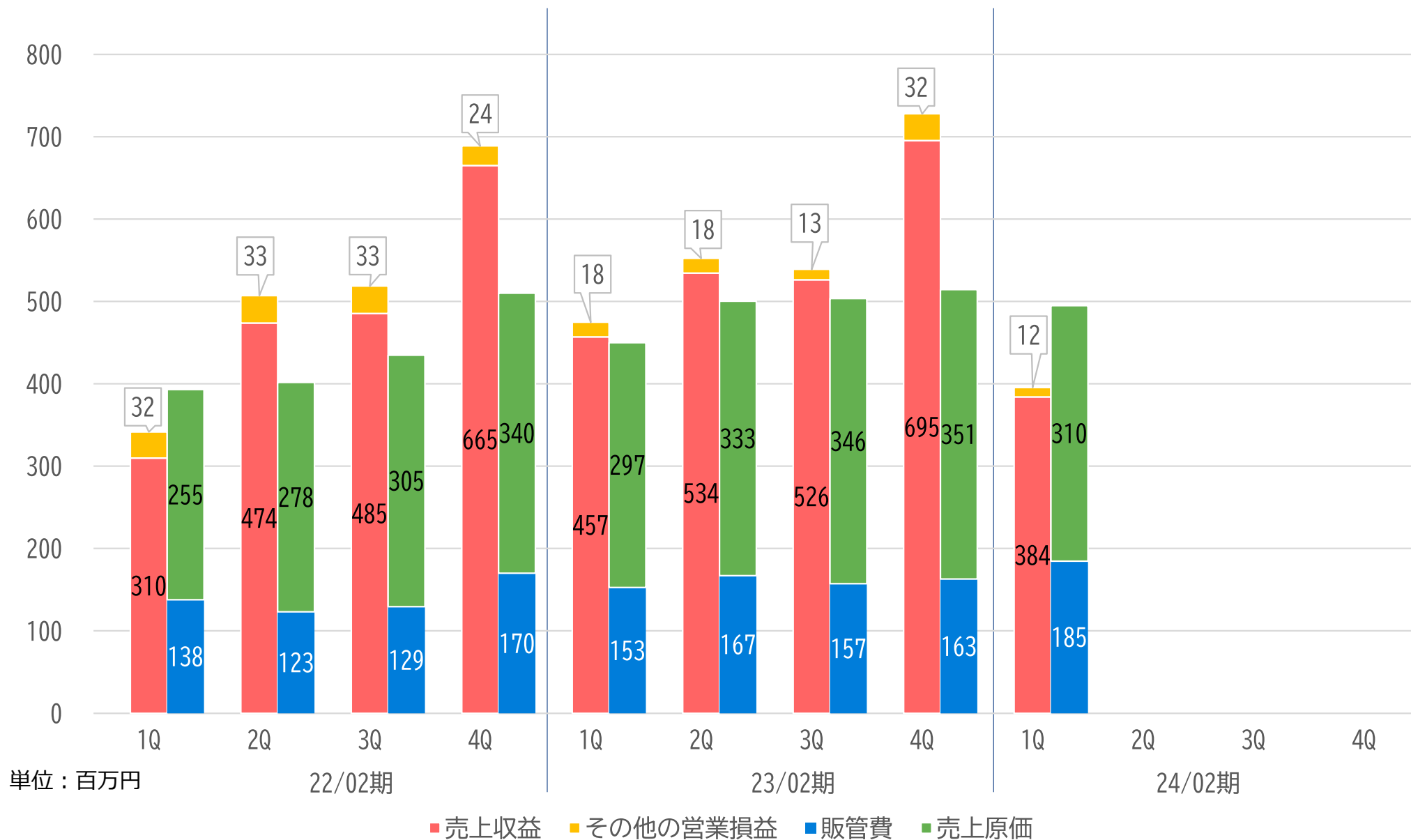
✓ 投資

- 前期からの人的投資及びIT投資により、労務費・人件費・減価償却費が予定通り上昇
- 第2四半期以降も人員増強や昇給、IT投資促進に加え、オフィス設備の拡充を実施予定

✓ 業績予想

- 2024年2月期業績予想は達成の見込み

連結P/L(四半期推移)



連結P/L(四半期比)

単位：百万円	2024年2月期 第1四半期	2023年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
売上収益	384	457	△ 73	-16.0%
売上原価	△ 310	△ 297	△ 13	4.3%
売上総利益	74	160	△ 86	-53.8%
販管費	△ 185	△ 153	△ 32	21.0%
その他の営業損益	12	18	△ 6	-35.1%
営業利益	△ 99	25	△ 124	—
EBITDA	△ 78	44	△ 122	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 65	20	△ 86	—

✓ 前年同期比、売上収益16.0%減、売上総利益53.8%減、営業損益124百万円減

- SaaSは補助金対応が奏功し堅調に推移も、MSRとコンサルは減少（減少要因は次ページ参照）
- 売上原価4.3%増、販管費21.0%増、以下が主な要因

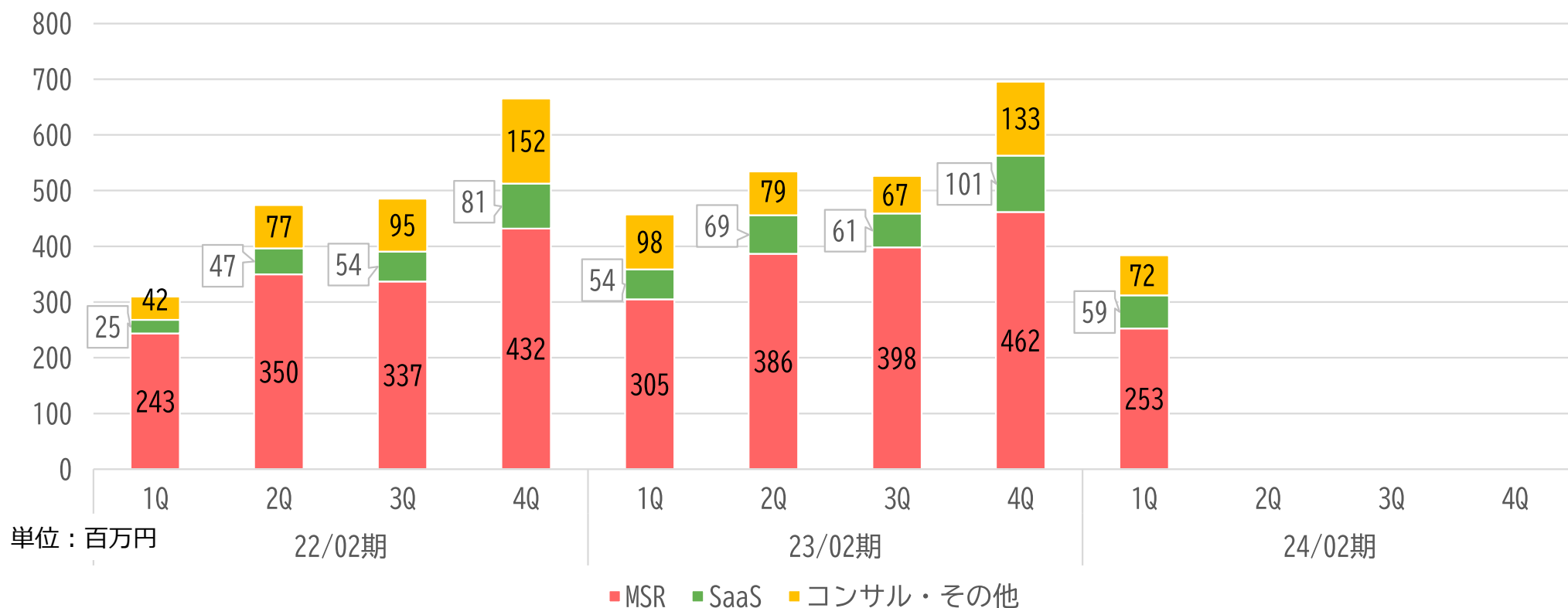
【売上原価】

- 調査数減、売上収益減に伴うモニター謝礼ならびにレポート生産や顧客紹介などに関する外注費などが減少（-）
- 人員増及び昇給に伴う労務費の増加、IT投資の促進に伴う賃借料の増加（+）

【販管費】

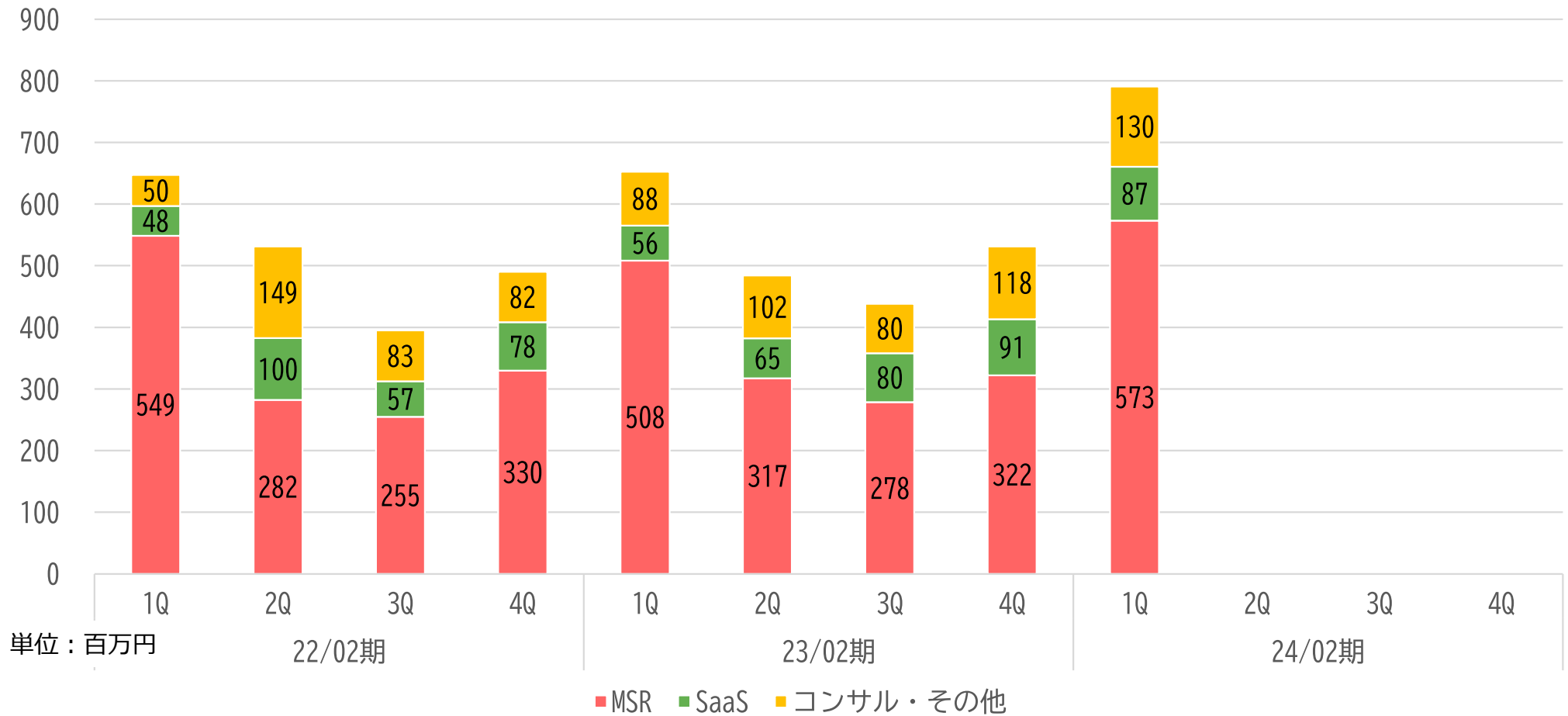
- 人員増及び昇給に伴う人件費の増加（+）
- 研修や打ち合わせのオンラインから対面への回帰が進んだことによる旅費交通費の増加（+）

連結売上収益の内訳(四半期推移)



- ✓ MSRは一部大手顧客の契約が満了となった他、年間調査スケジュール変更要請への対応等により前期1Q比で減少
2Qは前期2Q水準まで回復を見込む
- ✓ SaaSは各種補助金への対応が奏功し堅調に推移
2Q以降は月額契約に加え、例年通り季節変動分による計上も見込む
- ✓ コンサル・その他は、前期1Qに他社サービスの紹介手数料を計上していたこと等により前期1Q比で減少
前期1Qに紹介手数料を計上した保健師関連の助成金は制度変更により当期は見込まない一方、
2Q以降他の補助金や他社サービスの販売対応も強化し、売上拡大を目指す

国内における受注高の推移



- ✓ 受注高はコロナ後最高額を更新
(MSRは2023年2月期1Qの一部大型案件の複数年契約を、1年契約として補正済み)

連結P/L(予想進捗率)

単位：百万円	2024年2月期 第1四半期累計 (実績)	2024年2月期 連結会計年度 (予想)			2024年2月期 第2四半期累計 (予想)		
			予想 差異	予想 進捗率		予想 差異	予想 進捗率
売上収益	384	2,515	△ 2,131	15.3%	1,159	△ 775	33.1%
売上原価	△ 310	—	—	—	—	—	—
売上総利益	74	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 185	—	—	—	—	—	—
その他の営業損益	12	—	—	—	—	—	—
営業利益	△ 99	367	△ 466	—	70	△ 169	—
EBITDA	△ 78	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 65	234	△ 299	—	52	△ 117	—

✓ 2024年2月期業績予想は達成の見込み

- 予想進捗率は高くないものの、次ページの取り組みにより、予想は達成の見込み
- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は15.3%、
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は53.4%
- 上期業績予想に対する売上収益進捗率は33.1%、
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた上期業績予想に対する売上収益充足率は69.8%

活動方針と重点施策の進捗

①MSR：再成長軌道へ

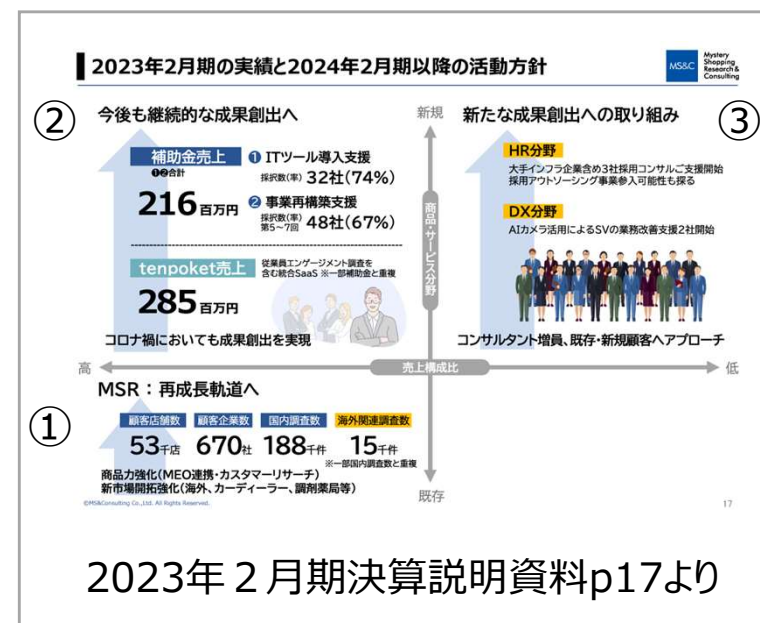
- ✓ 海外関連調査の1Q売上収益は前期1Q比22.9%増の38百万円、2Q以降も引き続き高成長を目指す
- ✓ 送客+調査型サービスは受注好調、安定提供に向け人員採用し育成中
2Qにオフィス設備の拡充も実施、売上収益の拡大を見込む

②継続的な成果創出へ

- ✓ 補助金関連の1Q売上収益は前期1Q比2.1%減の63百万円
採択結果発表日程に合わせ、2Q以降の拡大を目指す
- ✓ 事業再構築補助金第10回目の申請支援件数は過去最大
採択結果に応じた売上計上を3Qに見込む

③新たな成果創出への取り組み

- ✓ HR分野
 - コンサルは前期より継続実施
 - 職業紹介事業の許可申請準備中、10月の手続き完了を目指す
- ✓ DX分野
 - コンサルは前期より継続実施
 - 6月にセミナー実施など、マーケティングを推進
- ✓ コストダウン支援
 - 各種コストダウンメニューから顧客ニーズに合わせ積極提案、人気の空調コスト削減はテスト導入60社超
 - 3Q以降の売上貢献を目指す



資 産

単位：百万円	2024年2月期 第1四半期 (2023年5月31日)	2023年2月期 連結会計年度 (2023年2月28日)
現金及び 現金同等物	532	666
営業債権 及びその他の債権	242	468
流動資産合計	886	1,220
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,553	2,514
資産合計	3,439	3,733

負債及び資本

単位：百万円	2024年2月期 第1四半期 (2023年5月31日)	2023年2月期 連結会計年度 (2023年2月28日)
社債及び借入金	28	69
営業債務 及びその他の債務	534	502
流動負債合計	617	727
社債及び借入金	0	0
非流動負債合計	36	43
資本金	61	57
資本剰余金	2,025	2,021
利益剰余金	995	1,099
資本合計	2,786	2,963
負債及び資本合計	3,439	3,733

- ✓ 売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 金融機関からの長期借入金の当1Q末残高は28百万円

単位：百万円	2024年2月期 第1四半期	2023年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	61	38	23	60.9%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27	△ 23	△ 4	19.7%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 171	△ 84	△ 87	103.5%
現金及び現金同等物の期末残高	532	1,003	△ 470	-46.9%

✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前損益143百万円の減少があった一方、営業債権の回収額が74百万円増加、営業債務の支出額が112百万円減少、法人税等の納税額が58百万円増加等した結果、前年と比較して23百万円収入増となり、当1Qの営業活動によるキャッシュ・フローは61百万円の収入

✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 当1Qの支出は、借入返済42百万円とリース負債の返済8百万円に加えて、自己株式の取得による支出78百万円、期末配当金の支払39百万円等が発生したため、前年と比較し87百万円の支出増

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。